

Ⅱ．事業の概要

1．当該年度の事業の概要

「睦学園グランドデザイン2030」

令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの計画

<ビジョン>

和でつながり、個を伸ばす。

<育む人材像>

睦学園は「和の力」を通して「個の力」をもった人材を育成します。

個の成長を最大化させる教育を実践し、共生力を課題解決能力を育みます。

<2030年に達成する姿> （各部門共通の基本骨子）

- | | |
|--------|--------------------|
| Ⅰ 人間教育 | 「和」の精神に基づく睦人材の育成 |
| Ⅱ 教育研究 | 教育の充実と総合的「和」の形成 |
| Ⅲ 国際交流 | 世界的視野で行動する人材の育成 |
| Ⅳ 社会連携 | 地域に開かれ地域と共に成長する |
| Ⅴ 経営基盤 | 持続的な変革と発展を支える組織づくり |

この目標に向け、部門ごとに令和12(2030)年度に目指す姿を定め、中間計画を策定し、この計画の実現に向けて「睦グランドデザイン2030」の第2期初年度である令和7(2025)年度に実施した主な事業について報告します。

○法人の管理運営

1. 令和7(2025)年4月1日の私学法改正に伴い、ガバナンスの強化を図りました。
 - ・内部監査室の設置と内部監査室長の選任
 - ・大学部門における内部監査の実施
2. 法人機能の強化を図りました。
 - ・人事制度の見直し及び研修体制の整備に着手
 - ・経営に関する管理体制の整備、決裁権限の簡素化
 - ・コンプライアンス推進委員会、リスク管理委員会の実施
3. 法人による学園一体化の検討を行いました。
 - ・業務効率化、DX・SX推進のため全学園で給与明細および年末調整の電子化移行大学部門に続き、一部部門で勤怠クラウドシステムの移行準備中。
4. 学校法人としてのブランド力の強化のため産官学金との協調事業を推進しました。
 - ・新たな寄付事業を検討し、地元有力企業より大学指定強化クラブへ寄付金を受贈
 - ・大学部門と一般企業との就職先マッチングサポートの強化。出口戦略強化によるブランド力の向上の実現

(1) 人間教育

- ① 人間力としてのコンピテンシーの点検として「伸びた学生」に関する情報を分析し各学科にフィードバックしました。

(2) 教育研究

- ① PROGテスト、授業アンケート等の実施によりアセスメントデータの収集可視化を行い、教学アセスメント方法の見直しを行いました。
- ② 大学・短大以外の他部門と教育面のみならず地域貢献を含めた連携を強化しました。
- ③ FD・SD研修会で「グッドプラクティス賞」受賞者による講演会を実施しました。
- ④ 学生の希望に沿った質の高い出口保証を目指し、各学科とも目標数値の達成に向け取組を行いました。
また、留学生に対する就職支援の取組も行いました。
- ⑤ 中途退学率、原級留置生の減少を図るため、面談システムの活用、健康管理センター、Qるーむとの連携をさらに強化しました。
- ⑥ 看護学研究科博士前期課程・後期課程の教育研究改革を実施しました。
- ⑦ 中期計画に基づく学部学科改組計画の策定と新たな教育課題への対応
 - ・栄養マネジメント学科…令和8年度より「栄養学科」へ名称変更。
 - ・健康システム学科…令和8年度より「健康スポーツ学科」へ名称変更。
 - ・社会福祉学科…令和8年度高等学校教諭一種免許状(公民)認可に向けて協議中。
 - ・保育科第一部・第三部…兵庫大学へ5名が編入を予定。
- ⑧ 近年、教職員の支援を必要とする学生は増加傾向にあり、教職員一丸となって教育支援体制の充実と拡充に努めています。
- ⑨ Husystemの利活用により学修成果の可視化と個別最適学習の支援を行っています。
- ⑩ 授業以外の課外活動や社会活動に積極的に取り組む優秀な学生を顕彰する体制を構築しました。
- ⑪ (株)スポーツフィールドとスポンサー契約に係る連携協定を締結し、スポンサー企業の獲得に向けた取組みを開始しました。
特別強化指定クラブに対し、地元有力企業1社から複数年に亘る寄付金を受贈しました。
- ⑫ 附属総合科学研究所に学内外研究員を招聘し、共同プロジェクトを立ち上げる等研究成果を地域に貢献できるよう研究基盤を構築しました。

(3) 国際化推進

- ① 令和6年度に引き続き、グローバル人材育成のためのプログラムを検討し、フィリピン「ラプラプセブ国際大学」ハワイ「ハワイ大学マノア校」へ2名の学生を派遣しました。

- ② ベトナムにおけるヘルスケア・ネクシャリスト養成講座の受講ニーズを調査し今後留学生の受け入れを検討していきます。

(4) 社会連携

- ① 大学・短大同窓会(兵鸞会、滴翠会、第三部同窓会)との意見交換会を定期的に開催し人的交流を活性化しています。今後は同窓会組織の再編成等を検討し大学と同窓会組織のさらなる活性化を図ってまいります。
- ② 地域創生事業の連携協定先として二市及び社会福祉法人2団体と共同事業を開始しました。
- ③ リスキリング・リカレント教育推進の一環として、通信教育課程における幼稚園教諭対象の上進講習を実施しました。また地公体との連携事業としてオンラインでのキャリアアップ研修の新設を検討しています。

○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

(1) 人間教育

- ① 令和5年度の創立100周年記念行事から継続して、令和7年度も諸行事を実施し、宗教行事を通じ情操教育を礎にした「和の精神」の涵養に繋がっています。
- ② 部活動（スポーツ）の活性化によるチーム力（和の精神）の涵養にも繋がっています。

(2) 教育研究

- ① 令和7年度の大学・短大への進学率や、専門学校も含む進学率も目標を掲げ進路指導を強化しています。
- ② 兵庫大学との高大連携による探求学習のための単位を設定しています。
- ③ 個に寄り添う教育（キャリアデザイン）を展開し、IR導入により学籍及び成績管理、行内各部署の情報共有等、DX推進を強化しています。
- ④ 「未来デザイン専攻」の設置により兵庫大学との共同プログラムを構築しアントレプレナーシップ教育によりカンパニープロジェクトを授業の一環として開始しました。
- ⑤ 英語教育を中心とした教育指導による難関大学の進学率の向上のため志望者対応の英検対策及び受験指導体制を構築しています。
こうした施策奏功し、令和7年10月末現在、英検2級合格者10名、国公立大学・関関同立等難関私立大学合格者5名の実績を上げています。

(3) 国際化推進

- ① ハイブリッドな国際交流を展開するために、国際交流の復活、長期国際交流策を検討し、来年度以降海外への修学旅行及び短期留学を企画しています。
- ② フランス姉妹校エスチェンヌデュルヴ高校への交流開始50周年を記念し令和8年には「渡仏50周年事業」を実施する等順調に推移しています。

(4) 社会連携

- ① 「生活発表とバザー」で卒業生(鷗翠会)との協同による活性化を図りました。
- ② 地域社会との連携によるボランティア活動・社会福祉施設を中心としたイベントへの参加も積極的に行っています。
- ③ 小・中学校の部活動の地域クラブへの移行に本校の部活動が協力しました。
昨年の新体操に続き、神戸市及び明石市、兵庫県下全域のバレーボールクラブチームの招聘活動を実施しています。

○神戸国際中学校・高等学校

(1) 人間教育

- ① 中学校の道德教育において学園訓(感謝・寛容・互譲)のこころを育て、感謝・寛容・互譲の心を育む道德教材の整理を進めています。
- ② ボランティア活動を推進し、感謝され、感謝する、助け合うこころを育む活動を展開しています。

(2) 教育研究

- ① 教員の資質能力の向上を図り、授業の工夫・改善・充実による入学後の学力向上を図っています。
「中学3年次における学力推移調査平均偏差値」
「高校3年次における校外模試調査平均偏差値」の目標を設定し取り組んでいます。
- ② 少人数制に更に磨きをかけ、質問対応や個別指導の徹底に努めています。
入学後に偏差値を10以上伸ばすために授業前、放課後を活用して個別指導を実施しています。また昼休みのイングリッシュ・カフェ等を開催し、本校の得意分野である英語運用能力の向上を図っています。

(3) 国際化推進

- ① 海外語学研修の推進並びに海外協定校の拡大を図り、グローバル人材、グローバルリーダーを育成するため、韓国姉妹校1校、ニュージーランド協定校1校と各々契約締結しています。今後も海外における協定校を増強する計画です。
- ② 長期留学生を積極的に受け入れたり、須磨ノ浦高校の姉妹校エスチェンヌ・デュルヴ高校の生徒との交流を深めて、生徒のグローバル感覚を醸成するよう努めています。

(4) 社会連携

- ① 協定校(須磨浦小、バイリンガルスクール、高羽六甲アイランド小)や協定教育機関(公文、ECCジュニア)との連携を更に強化し、生徒募集イベントへの参加者数増を図っています。

- ② 協定校や協定教育機関との入試連携を更に強化し、本校への推薦者数増へ繋げています。

○兵庫大学附属須磨幼稚園

(1) 人間教育

- ① 行事の取組の中で、学園訓を育む機会は多くあります。
子ども達の体験と学園訓とを繋げて進めていく意識を持つことが、豊かな心を育む基礎づくりとして重要であると捉え、体験のチャンスを活かした人間教育に取り組んでいます。

(2) 教育研究

- ① IEP個別教育計画の実践に親の願いや成長への期待を知ることによって保育目標の具体化が進んでいます。
- ② STEAM教育の展開で不思議から調べる楽しさを知り科学に興味を持つ保育に取り組めました。

(3) 国際化推進

- ① イマージョン教育の推進のため、次の取組を実施しました。
- ・英語カリキュラムの導入（年少、年中組）
 - ・オープンデーの実施（一般公開）
 - ・他国の子どもとオンライン交流
 - ・保護者参加型のイベント実施（ハロウィン、クリスマス等）
 - ・未就園児の英語での保育

(4) 社会連携

- ① 園児と地域とのかかわりを深めるための地域イベントへ参加しました。
- ② アプローチカリキュラムを設定し、小学校へスムーズに移行できるよう、保育の中にプログラムを組入れています。

○兵庫大学附属加古川幼稚園

(1) 人間教育

- ① 主体的にコミュニケーションを図り、日常生活の中で自ら考え行動できる子どもの育成のため、園内で出会う人や通園バス乗降時など、日々の生活の中で園児自らが自然に挨拶やコミュニケーションを図れるよう取り組んでいます。
- ② 建学の精神の共通認識を深め日々の実践につなげるための研修を実施しています。

(2) 教育研究

- ① 子どもの「好き」を応援するための計画を立て実施しました。
- ② 全園児対象に個人懇談を実施し、保護者と教職員が子どもの成長を共有するとともに保護者の願いを受け止め、保育に反映させています。
- ③ 年齢の壁を越えて、子どもたちが自然にコミュニケーションを図り、成長を育むことができるよう、異年齢集団での保育活動に取り組んでいます。
- ④ 附属園として大学との連携を深める取り組みを推進しています。
- ⑤ 豊かな環境の中で「好き」な遊びや行事を通して健康な心身を育む取組を行いました。

(3) 国際化推進

- ① 海外からの一時帰国者の受入れを継続しています。
- ② 外国の文化や言葉に関する興味や関心を持たせる取組として、園児の発達段階に即して外国語に触れる場面を設定し、外部委託したスタッフが、月1回英語遊びを保育時間内に実施しています。

(4) 社会連携

- ① 野菜の収穫体験や田植え、稲刈り体験等自然との関わりを中心に近隣の地公体、兵庫県外郭団体および県立高校と協働しました。
- ② 保育について保護者との連携を図るため、毎月の保護者会役員会で園の状況について詳しく報告を行っています。